

2022 年度事業報告

【第7期】

《2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日》



一般社団法人 福岡ねこものの会



一般社団法人福岡ねこもの会

2022 年度 事業報告(第7期)

はじめに

第7期は、新型コロナウイルスの流行が落ち着きつつある中で、僅かではありますが、徐々に日常を取り戻しながら前に進んだ1年でした。継続して行っている相島支援事業を始め、当会のメイン事業の1つである譲渡会や、TNR活動を精力的に進めて参りました。

相島支援事業では、支援を始めてから今日まで、島民の方々や他団体のご協力のもと、島猫たちが安心して暮らせるような生活環境を整えることができました。

譲渡会においては、年に6回の開催の中で、里親の方々と猫たちのご縁を結ぶことができ、また、事故や人間の愚かな所業により小さな命が消えてしまう可能性があった猫たちを多数レスキューするなど、「命を救い」、「幸せの橋渡しをする」活動ができたと感じております。

当会所在地である大野城市は、行政、地域と当会が連携を取りながら進めてきた地域猫推進活動が実を結び、地域猫という概念が徐々に浸透してきました。しかしまだ十分とは言えず、いまだに無責任な行動で猫の幸せに横やりを入れる方がいます。猫に愛情を注ぐのは素晴らしいことですが、ただエサを与えればそれでいい、それが幸せなんだという考えは、本当の意味では猫の幸せではないと私たちは考えます。

では、猫の幸せとは何なのか？

その問いに答えるべく、当会はスタッフやボランティアの皆さんと一緒に活動を進めて参ります。

毎年製作しておりますオリジナルカレンダー「ねこもカレンダー」は、障がい支援事業所さまをはじめ、多くの事業者さまやボランティアの皆さまに支えられて販売を終えることができました。また、オリジナルTシャツもご好評いただいております。ご購入いただいた皆様に感謝し、代金は保護猫の医療費や愛護啓発活動資金とさせていただきます。

これからも皆様のあたたかいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表理事 城 恭子

1. 地域猫推進活動

○相島支援事業○

令和1年5月より支援を開始した相島支援事業、当会や島民の方々、他団体さまと力を合わせた支援を通して、島民と島猫の本来のあるべき姿を取り戻したように感じられる1年でした。一斉 TNR 前は餌やりも確定していなく、当会は餌やりや状態の悪い猫は保護を行い現在も継続して治療中の猫もいます。昨年度より**通算103回以上**の支援を行っております。島猫の避妊去勢手術がひと段落し、島民と連絡を取りながら島猫への安定した支援活動を定期的に行うことができました。

* 当会呼びかけにより年間 1,000 キロ以上のフードのご支援が届きました

月	訪問回数	活動内容
4 月	1 回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む） 300 kg
6 月	2 回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援 250 kg
8 月	1 回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む） 400 kg
10 月	1 回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む） 60 kg
11 月	1 回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む） 340 kg
R5年 1 月	2 回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む） 390 kg
2 月	1 回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む） 80 kg
3 月	1 回	清掃活動、給餌・投薬、フード支援（運搬含む） 200 kg
合計	10 回	* 今期フード支援総量 2,020 kg（当会のみ支援分）

○相島事業に関する活動記録（2022年4月～2023年3月までの活動）

今年度も、猫たちへの給餌、清掃活動、フード支援、投薬を継続して行いました。



↑◎令和4年11月9日に、当会が購入したフード支援を船で運搬し、保管場所へ運び並べました



←◎パウチを開封する音と香りに敏感な島猫たち。開けるとすぐに猫をお世話する島民に寄ってきます

○その他の地域猫推進活動○

佐賀県鳥栖市にある佐賀競馬場に、74匹の野良猫が住み着いているとの情報があり、TNRの支援に行ってきました。

鳥栖市では当会のような団体が多くは存在せず、また、地域猫活動も盛んではないとのこと。

鳥栖市だけでなく、不幸な猫たちを増やさないためにも、「地域猫」を様々な地域の住民に浸透させていく活動を地道に行っていく必要性を感じずにはいられない TNR でした。



◎これから手術を受けに出発を待つ猫たち



◎どうぶつ基金みやま病院にて手術を行いました

◎手術後は、1日捕獲機の中で休ませて
次の日にリターンとなります



↑◎令和4年12月10日、手術後に元に
いた場所にリターンされる猫たち

2. 保護猫の譲渡会

今年も大野城市と連携し、大野城まどかぴあ北玄関にて保護猫の譲渡会を6回開催いたしました。猛暑の8月や、12月から2月にかけての寒い時期は、人間だけでなく猫たちにとってもつらい季節になりますので、気候のいい時期に開催しています。



保護猫譲渡会

令和4年 9月24日(土)
10月22日(土)
11月26日(土)

ヒト・ネコ Happy プロジェクト

大野城市まどかぴあ 市役所側北入り口
13:30~15:30

主催 一般社団法人 福岡ねこもの会
後援 大野城市

福岡ねこもの会は、猫の殺処分を目的として
『人と動物が幸せに共生する社会づくり』と『動物愛護の啓発活動』や
『猫の譲渡活動』や『不幸な猫を減らすための不妊・去勢手術推進活動』
など、猫の幸せの願いになるための活動を行っています。将来的には、飼い主の
いない猫をなくし、すべての猫に飼い主さんがいる世の中になる事を目的としています。

❗️注意事項
子猫から成猫まで表示予定です。食の習性に基づき条件が合わない場合はお断りさせて頂く場合がございます。
当日の引き渡しはございませんので予めご了承ください。

ねこものにしあわせに生きる
一般社団法人 福岡ねこもの会
http://qwer.jp/fnekotomonokai/index.html

お問い合わせ TEL 090-1970-2220 E-mail fukuokanekotomonokai@yahoo.co.jp

※ 主催 1 行政と連携した動物愛護啓発事業 2 保護した猫の譲渡会 3 猫の不妊・去勢手術推進事業
内容 4 TNR事業推進・地域猫活動(町内猫も推進) 5 公園地域猫サポート 6 定例会開催(2ヵ月に1回) 7 行政への働きかけ(啓発活動)

譲渡会の案内チラシを定期的
に作成しています

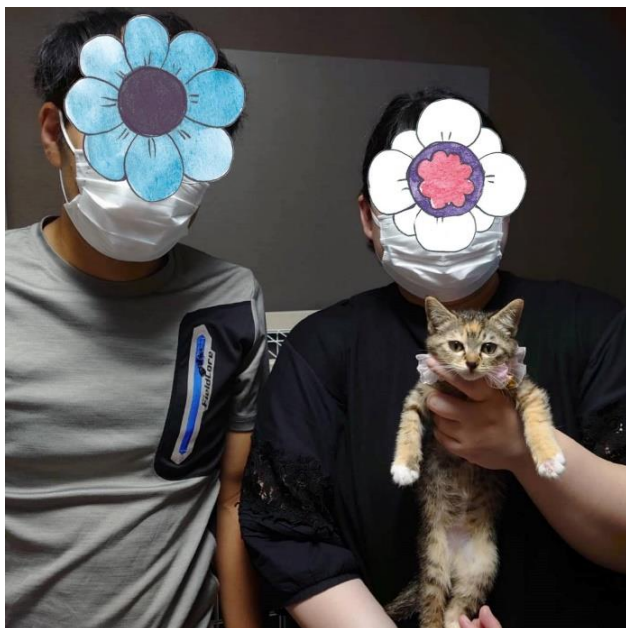
今年度の譲渡頭数は 28 匹、累計 751 匹になります。

★保護猫の譲渡会開催回数と里親決定頭数(2022年4月~2023年3月迄)

開催日	場所	参加猫頭数	面会予定数	里親決定頭数
①5/28(土)	大野城 まどかぴあ 北玄関前	5	3	3
②6/25(土)		12	5	5
③7/23(土)		15	5	5
④9/24(土)		19	5	5
⑤10/22(土)		18	6	6
⑥R5/3/25(土)		9	4	4
⑦その他	—	—	—	—
合計 (延べ数)	回開催	78 匹	28 匹	28 匹

* 里親決定頭数は譲渡会以外での決定数も含みます

当会では、里親を希望される方々に、猫が幸せに暮らすことができる環境を作り、愛情をもって育てると約束していただきます。それが猫たちの幸せであり、動物愛護の精神に繋がっていくものだと考えています。



◎里親さまと、いろはちゃん 譲渡会で運命的な出会いを果たしました



◎キキくんと里親さまご家族
廃業ブリーダーからレスキューされ、
あたたかいご家族に迎えられました



3. 不妊・去勢手術推進活動

今年度の飼い主のいない猫に対する**不妊、去勢手術**を施した頭数は 136 匹でした。当会の活動開始から合計で 1,047 匹になります。



◎令和4年7月10日、さくらねこになりました

7月、大野城市のある地域で、飼い主のいない猫で避妊去勢手術を行っていない猫12匹に長年エサをあげ続ける住民の方より相談があり当会より捕獲などの協力を行い大野城市とも連携を取り、どうぶつ基金みやま市病院にてようやく全頭手術を行うことができました。

このように、大野城市内の不妊去勢手術については、公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加している大野城市と協働してTNRを行うことがあります。



◎公益財団法人どうぶつ基金みやま市病院（R5/3/31迄の期間限定開催）

猫たちにより幸せになってもらうためにも、行政や他団体と協力し、今後**も不妊去勢手術の推進に努めて参ります。**

**大野城市下大利2丁目9番付近の管轄へ
飼い主のいない猫に不妊・去勢手術をします**
繁殖を防ぎ、一代限りの命になり飼い主のいない猫を減らしていきます

**7月7日(木)～8日(金)に、
手術のための捕獲作業を開始します**

- 上記の日時には飼い主を外に出さないでください。外に出ている飼い主を誘導して不妊去勢手術してもらいましょう。ご了承ください。
- 手術済の猫には、耳先をリカットします。
- 捕獲の妨げになりますので、上記該当期間中は当該管轄へのえさやりはご遠慮ください。

TNRMとは

捕獲し、不妊去勢手術をし、元の場所に戻し、管理します(「TNRM」といいます)

対象の猫
☆不妊・去勢手術を行うことで、同じ主のいない猫が増えませんが、若猫の増えが抑えられ、アノカやオス猫の減少が期待されます。
☆子猫の増えが抑えられ、アノカやオス猫の減少が期待されます。

活動内容
① これ以上増えないように不妊去勢手術をする
② 時間と場所を決めたエリア(置き餌)はしません
③ トイレの設置・フン処理の指示

※猫は野生動物のため、保護施設に収容することはできません！ 個所に適した環境を整えたいです。

協力：一般社団法人 横浜ねこもの会
連絡先 090-1070-2220
※猫の引き取り依頼は受付しておりません
※午前9時～午後5時まで(お電話は24時間受付)

◎手術を行う周辺地域へチラシを配布しました

4. 動物愛護啓発活動



今年度も、譲渡会やパネル展を開催しました。

まどかフェスティバルでは、たくさんの方にご来場いただき、当会の活動や猫を通して動物愛護についての情報を発信することができました。

○イベント活動記録

	開催日	イベント名	場所
①	5/28(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関
②	6/25(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関
③	7/23(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関
④		動物愛護週間パネル展示	大野城まどかぴあ1F
⑤	9/24(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関
⑥	10/22(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関
⑦	11/6(日)	大野城まどかフェスティバル	大野城まどかぴあ303会議室
⑧	R5/3/25(土)	動物愛護啓発パネル展示（譲渡会）	大野城まどかぴあ北玄関



◎令和4年11月6日
まどかフェスティバルの様子

5. 猫の相談に関する活動

当会には毎年、各地で様々な猫に関する相談が寄せられます。目を背けたくなるような痛ましい事件も多発しております。

また、道端で事故にあった猫の保護依頼や、飼育に関する相談が数多く寄せられました。

●道路に動けなくなっている猫を緊急レスキュー

12 月の寒い時期に車通りの多い道路で動けなく蹲っている猫がいるとの連絡があり、緊急に対応することになりました。病院に連れて検査をすると、腎臓病の末期と骨盤骨折が判明しました。当会で保護をして最後まで看取りをすることになりました。通報者さんからは、医療費等の寄付をいただきました。

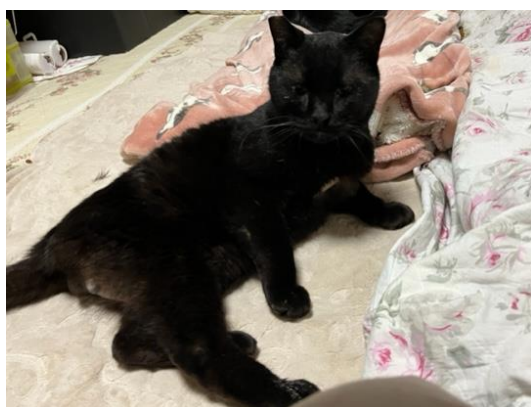
耳カットがあることから、地域猫の可能性があり保護した近辺での餌やりさんを探しましたが、名乗り出る人はいなく見つかりませんでした。



◎目が塞がり見えない状態で車が多い道路に動けず蹲っていました



◎骨盤骨折と腎不全末期が病院より判明して余命 2 週間と告げられました



◎懸命な介護もあり一時は元気になりました
余命 2 週間は通り過ぎました



◎保護して 3 ヶ月後に、虹の橋を渡りました。とても人なつこいい子でした

●北九州市 多頭飼育崩壊と思しき事案

初夏の日差しを見せる5月下旬、当会に1通のメールが届きました。



数匹飼っていた猫が瞬く間に増え、環境面、金銭面においてもこれ以上のお世話が困難なため助けてほしいとの内容でした。

当会スタッフが相談者さん宅を訪問したところ、34匹の猫が生活していました。うち4匹は避妊去勢手術済みのため、体調に問題のない猫から順に合計30匹を、北九州市のアニマイルどうぶつ診療

所さんにて手術していただきました。

飼い主さんは愛情をもって猫たちのお世話をしており、体調が良くなった猫たちは、里親探しをお願いされ、体調がいい猫は個人ボラさんと協力して里親さんに繋ぐことができました。今後も、適正飼育ができる頭数になるように里親探しや猫たちが餓えることがないようにフード支援を協力していきます。



上記のような多頭飼育による事案は毎年後を絶たず、猫たちの悲惨な状況を目の当たりにするたびに、やるせない気持ちになります。

当会は、**一般の方からの飼い主のいない猫の引き取りやシェルター事業**は行っておりません。相談者の方から相談内容に対しアドバイスさせていただくのみで、実際の行為は相談者様に責任をもって行っていただきます。

◎**会員外からの相談対応件数**（2022年4月1日～2023年3月31日）

メール 370 件 電話 60 件 フェイスブック 36 件 合計 466 件

6. その他の活動

(1) オリジナルカレンダーなどの製作販売

毎年秋頃から12月にかけて、**当会で保護後新しい飼い主さんと幸せになった猫たちと、地域猫たち**をモデルとしたオリジナルカレンダーを販売しました。販売は、提携書店さん、当会員さんやイベントにて、皆様にご協力いただきました。

また、猫を**オリジナルTシャツ**も、ご好評いただいております。



Tシャツ(黒、白の2種類あります)

★ねこともカレンダー販売店

≪書店≫

◎積文館書店 6店舗

(新天町本店・ゆめタウン筑紫野店

小田部店シュロアモール店・大野城店

アクロスモール春日店)



🐾 2023 年版ねこともカレンダー

≪協力会社・店≫ (順不同)

◎西部ガス絆結(株) ◎プティウルス ◎オリオン ◎かなた整骨院

≪動物病院≫ (順不同)

◎サンバレー動物病院 ◎いとう動物病院 ◎オーク動物病院

◎さくらねこ動物病院 ◎オアシス動物病院

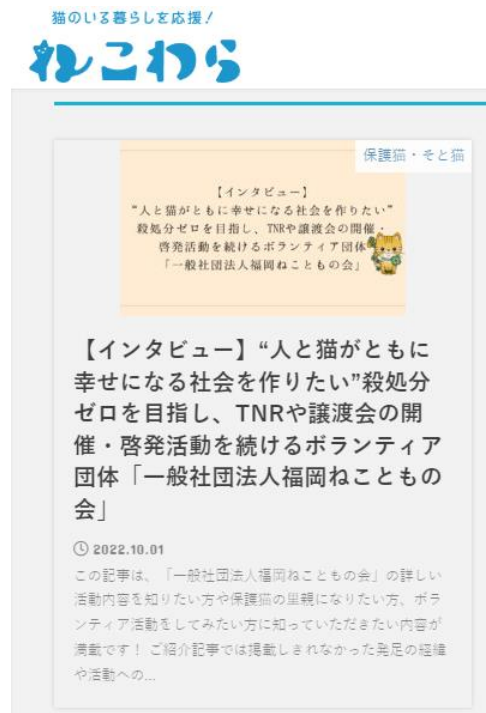
★メディアによる紹介

◎西日本新聞

今年も福岡都市圏版に記事を掲載していただきました。

【R5/11/4(金)付西日本新聞】→





◎WEB サイト「ねこわら」

<https://nekowara.com/>

猫に関する情報満載の「ねこわら」さんよりインタビューを受け、令和4年9月24日と10月1日に記事が掲載されました。

当会の活動を余すところなく紹介してくださっていました。



(2) 募金活動

活動資金獲得の一環として、毎年バザーなどに参加し、募金活動も行っておりましたが、今年度は譲渡会やパネル展での活動のみとなりました。

●募金額（譲渡会等イベントでの募金振込による寄付を含む）966,351 円

(3) 定例会・運営委員会

◎定例会

コロナ以降グループラインにて会員間で様々な情報の交換を行い日々発生する問題について共有し解決するために意見交換を行なっています

(4) クリスマスケーキを児童養護施設へ 50 年間届けるプロジェクト

2018 年より参加を決めた当プロジェクトは、今回で 4 回目の参加となりました。

今年も、2 施設に人気のスポーツ用品をクリスマスプレゼントとしてお届けしました。



◎施設スタッフさん



7. 会に関すること

(1) 活動報告掲載

- ◎ホームページ <http://qwer.jp/fnekotomonokai>
- ◎フェイスブック <http://www.facebook.com/fukuokanekotomonokai>
- ◎メールアドレス fukuokanekotomonokai@yahoo.co.jp

(2) 各種登録・加入団体

- ①第一種動物取扱業者 登録番号 第 4059100201 号
- ②大野城まどかぴあ男女平等推進センター市民グループ活動支援 登録
- ③商標『ねこものの会』登録番号 第 5901395 号
- ④福岡県地域猫推進サポーター（推進員として会員 3 名登録）
- ⑤特定外来種防除認定（環境省・農林水産省）

(3) 活動記録（2022 年 4 月～2023 年 3 月末まで）

	頭 数	備 考
譲渡した猫	28 匹	合計 751 匹
不妊・去勢手術	136 匹	合計 1047 匹
地域猫管理頭数 (3 月末現在)	54 匹 (10ヶ所)	大野城市 16 匹 (2 地区) 春日市 13 匹 (2 地区) 太宰府市 14 匹 (3 地区) 筑紫野市 1 匹 (1 地区) 福岡市 10 匹 (2 地区)
猫の譲渡会開催	行政と連携で年 6 回	
動物愛護啓発活動	行政と連携で年 6 回	

オス

オス猫は右耳カット



メス

メス猫は左耳カット

